

# CLOUDSIGN Salesforce版

V4.1 バージョンアップ リリースノート



最終更新日 : 2022 年 3 月 25 日

## はじめに

リリースノートではクラウドサイン Salesforce 版の主要な新機能や既存機能の機能強化に関する概要情報を提供します。新機能、機能強化には既存環境に影響を与える可能性があります。より詳細な情報については、リリース時に公開予定のヘルプサイトを参照ください。

ヘルプサイト： <https://doc.terrasky.com/display/CLOUDSIGN>

## 目次

1.	書類情報の自動設定が可能に	4
2.	アクセスコードを必須項目にできる設定を追加	5
3.	書類転送のデフォルト値を「許可する」にできる設定を追加	6
4.	重要なお知らせ	7

## 1. 書類情報の自動設定が可能に

書類情報の項目（契約相手の名称、契約開始日、取引金額などの8項目）の自動設定ができるようになりました。

例えば、書類の申請・承認時に入力した書類情報を、書類送信画面で再度入力する必要がなくなります。これにより、書類情報の入力漏れや入力誤りを回避できるようになり、担当者の入力の手間が削減できるため、さらなる業務効率向上が期待できます。

※本機能を利用するには、システム管理者によりカスタムメタデータ型での設定が必要となります。

▼[書類を送信]ボタンがあるレコードに登録済みの書類情報が[送信ファイルの選択]画面に自動設定されます

The image shows two screenshots from the Salesforce interface. The top screenshot is a record page for '販売管理システム-システム更改' (Sales Management System - System Change). It displays details such as '取引先名' (Customer Name: 株式会社テラ商事), '完了予定日' (Completion Date: 2022/03/31), and '金額' (Amount: ¥1,234,567). A yellow box highlights the '書類情報' (Document Information) section, which lists 8 items: 契約相手の名称 (Contract Counterparty Name), 契約締結日 (Contract Execution Date), 契約開始日 (Contract Start Date), 契約終了日 (Contract End Date), 自動更新の有無 (Automatic Update Status), 解約通知期限 (Termination Notice Period), 社内管理番号 (Internal Management Number), and 取引金額 (円) (Transaction Amount (JPY)).

The bottom screenshot is the 'クラウドサイン書類送信' (CloudSign Document Transmission) screen. It shows the '送信ファイル' (Transmission File) section with a dropdown menu containing the record title. Below it, the '書類情報' (Document Information) section is populated with the same 8 items from the record above, also highlighted with a yellow box. A large yellow arrow points from the record's document information to the transmission screen, indicating the automatic transfer of data.

## 2. アクセスコードを必須項目にできる設定を追加

[アクセスコード]を組織単位で必須項目に設定できるようになりました。

書類送信時に[アクセスコード]を設定すると、アクセスコードを知っている人のみ書類を閲覧可能にできます。[アクセスコード]を必須項目にすると、書類の送信時にアクセスコードの設定が必須となり、セキュリティを強化することができます。

▼アクセスコードを必須項目とするには、カスタム設定（クラウドサイン システム設定）画面で設定します

カスタム設定  
クラウドサイン システム設定 このページのヘルプ ?

カスタム設定がリストの場合、**【新規】**をクリックして新しいデータセットを追加します。たとえば、アプリケーションに国コードの設定がある場合、各セットに国名やダイヤルコードを含みます。

カスタム設定が階層の場合、ユーザー、プロファイル、または組織レベルに対してデータを追加できます。たとえば、特定のユーザーがアプリケーションを実行しているかどうか、特定のプロファイルか、または単に一般的なユーザーによって違い値を表示する場合があります。

[編集](#) [削除](#)

▼ デフォルトの組織レベルの値

保存場所	TerraSky	APIエンドポイント	https://api.cloudsign.jp
クラウドサイン書類送信のアクセスコードを必須項目とする	<input checked="" type="checkbox"/>	クラウドサイン書類送信で書類転送のデフォルトを「許可する」に設定	<input checked="" type="checkbox"/>
バックログ 保存期間(日数)	30	一括処理サイズ	20
クラウドサイン書類送信の書類詳細項目セクションを閉じる	<input type="checkbox"/>	クラウドサイン書類送信の共有先セクションを閉じる	<input type="checkbox"/>
ファイルダウンロードバッチを無効化	<input type="checkbox"/>	テンプレート取込サイズ	50

クラウドサイン書類送信

送信ファイルの選択 送信先の追加 オプションの入力 送信内容の確認

受信者向け項目

以下のすべての項目は、送信先への確認依頼メールに適用されます。共有先には適用されません。

• アクセスコード 受信者のメール言語 ?

hb9nvFJF --なし--

メッセージ 書類の転送を許可

基本契約書を送付いたします。  
ご確認よろしくお願いたします。

[戻る](#) [キャンセル](#) [次へ](#)

### 3. 書類転送のデフォルト値を「許可する」にできる設定を追加

[書類の転送を許可]のデフォルト値を組織単位で設定できるようになりました。

[書類の転送を許可]は、書類の受信者に決裁権限がない場合、受信者が適切な決裁権限者に転送できるオプション設定です。これにより、適切な決裁権限者の同意が得られ、法的な有効性を担保することができます。書類転送を許可する運用の場合は、[書類の転送を許可]のデフォルト値を「許可する」にすることによって、書類送信時の設定漏れを防ぐことができます。

▼「許可する」をデフォルト値とするには、カスタム設定（クラウドサイン システム設定）画面で設定します

カスタム設定  
クラウドサインシステム設定

このページのヘルプ

カスタム設定がリストの場合、【新規】をクリックして新しいデータセットを追加します。たとえば、アプリケーションに国コードの設定がある場合、各セットに国名やダイヤルコードを含みます。

カスタム設定が階層の場合、ユーザ、プロフィール、または組織レベルに対してデータを追加できます。たとえば、特定のユーザがアプリケーションを実行しているかどうか、特定のプロフィールか、または単に一般的なユーザによって違う値を表示する場合があります。

編集 削除

▼ デフォルトの組織レベルの値

保存場所	TerraSky	APIエンドポイント	https://api.cloudsign.jp
クラウドサイン書類送信のアクセスコードを必須項目とする	<input checked="" type="checkbox"/>	クラウドサイン書類送信で書類転送のデフォルトを「許可する」に設定	<input checked="" type="checkbox"/>
パッチログ保存期間(日数)	90	一括処理サイズ	20
クラウドサイン書類送信の書類詳細項目セクションを閉じる	<input type="checkbox"/>	クラウドサイン書類送信の共有先セクションを閉じる	<input type="checkbox"/>
ファイルダウンロードパッチを無効化	<input type="checkbox"/>	テンプレート取込サイズ	50

クラウドサイン書類送信

送信ファイルの選択 送信先の追加 オプションの入力 送信内容の確認

受信者向け項目

以下のすべての項目は、送信先への確認依頼メールに適用されます。共有先には適用されません。

\* アクセスコード  
hb9nvfJF

受信者のメール言語  
--なし--

メッセージ  
基本契約書を送付いたします。  
ご確認よろしくお願いたします。

書類の転送を許可

戻る キャンセル 次へ

## 4. 重要なお知らせ

### Internet Explorer のサポートを終了します

Microsoft 社の Internet Explorer 11 は、2022 年 6 月 15 日に Microsoft 社のサポートが終了します。

これに伴い、クラウドサイン Salesforce 版は Internet Explorer のサポートを終了とさせていただきます。なお、Microsoft Edge (Chromium) はサポートを継続いたします。ただし、Microsoft Edge による IE モードでの利用はサポート対象外となります。

現在、Internet Explorer をご利用の場合は、Google Chrome などのサポートブラウザへの移行をご検討ください。

### 参考サイト

Internet Explorer のサポート終了について

<https://blogs.windows.com/japan/2021/05/19/the-future-of-internet-explorer-on-windows-10-is-in-microsoft-edge/>

クラウドサイン Salesforce 版のサポートブラウザについて

<https://doc.terrasky.com/pages/viewpage.action?pageId=14067331>

クラウドサイン Salesforce 版 V4.1 バージョンアップ リリースノート

---

株式会社テラスカイ

URL : <https://www.terrasky.co.jp>

E-Mail : [support@terrasky.co.jp](mailto:support@terrasky.co.jp)

---